



地域研究特講（欧州）

2018年10月18日

担当 入稻福 智

◎ 10月11日の練習問題と模範解答はホームページに掲載してあります。

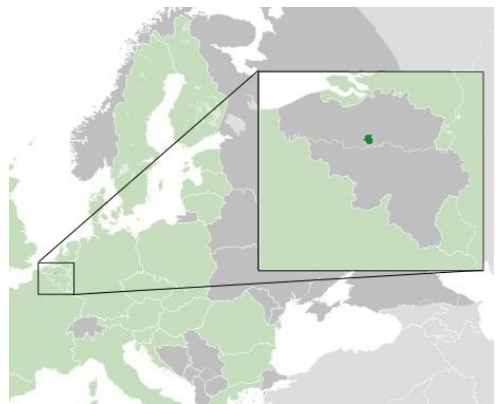
ダウンロードするには「ユーザー名」と「パスワード」を入力する必要がありますが、ともに autumn です。



ベルギー

ヨーロッパ北西部にあるこの国は、北はオランダ、東は（ ）、南東部はルクセンブルク、南は（ ）に接する。また、北海をはさみイギリスと対峙している。歴史的にはオランダやルクセンブルクと結びつきが強く、（ ）と呼ばれることが多い¹。

人口は約1100万人である。



国土（約3万平方キロメートル）は、北部のフランドル地方と南部のワロン地方に分けられるが、それに首都ブリュッセルを加えた3つの地域からなる。なお、ブリュッセルはフランドル地方の中にある。

オランダに接するフランドル地方ではオランダ語が、他方、フランスに接するワロン地方ではフランス語が話されているが、それにドイツ語を加えた3ヶ国語がベルギーの公用語である。なお、「ベルギー語」という言語はない。首都ブリュッセルはオランダ語圏である（ ）地方にあるが、住民の多くはフランス語を話す。

ベルギーは、商業地であるフランドル地方を中心として栄えたが、14世紀末にブルゴーニュ公国領、続いて、ハプスブルク家の支配下に置かれた。

16世紀中頃、スペイン・ハプスブルク家の領土となった。

¹ この3国は、1958年に設立され、関税同盟を基礎とする欧州経済共同体（EEC）の原加盟国であるが、3国間では1944年より関税同盟が発足している。また、EECを基礎とし、1993年に発足したEU（EC）は、1999年、加盟国間に共通の通貨ユーロを導入したが、ベルギーとルクセンブルクはそれよりも先に通貨統合を達成していた。

17世紀中、その南部をフランスのルイ14世に奪われ、北部をオランダに奪われた。

スペイン継承戦争の結果、1713年、オーストリア領と、また、ナポレオン1世によってフランスに併合されるが、ウィーン会議の結果、1830年、独立してベルギー王国となった。

ドイツとフランスの間にあるため、ナポレオン戦争²、第1次世界大戦、第2次世界大戦の戦場ともなった。

問題1 カタルーニャでは伝統的に独立の気運が強いが、その理由を2つ挙げなさい。

問題2 以下の文章を読み、空欄に適語を入れなさい。

現行スペイン憲法上、カタルーニャ州には広い範囲で自治権が与えられており、独自の行政組織（例えば、）を持つことができる。また、スペイン民法とは異なる独自の民法を制定しているが、そのどちらが適用されるかは（）による。なお、（）に関して、カタルーニャ州の自治権は制限されており、その行使に際しては中央政府の承認を必要とするが、それが州と中央政府間の対立要因の一つになっている。

問題3 2017年10月のカタルーニャ自治州住民投票の後、スペイン中央政府はどのような措置を講じたか説明しなさい。

問題4 2017年10月の住民投票後、カタルーニャ自治州のプチデモン首相（当時）はブリュッセルに逃亡したが、逃亡先としてこの都市が選ばれた理由を説明しなさい。

² 諸国との戦争に敗れ、地中海上のエルバ島に流されたフランス皇帝ナポレオン(1世)は、1815年3月、脱出してフランスに戻り、帝位を回復するが、フランドル地方にあるワーテルローでイギリス・プロシアの連合軍に敗れた(1815年6月、ワーテルローの会戦)。捕えられたナポレオンはセントヘレナ島に流され、「ナポレオンの100日天下」は終わった。